

平成 21 年度 第 18 回三島ゆうすい会総会

3 月 8 日 (日) Via701 (三島市本町) で、「平成 21 年・第 18 回三島ゆうすい会総会」が開催されました。塚田冷子三島ゆうすい全会長の挨拶に続き、来賓の落合光一三島市副市長、八木三雄三島市議会議長から



第 18 回三島ゆうすい会総会

ご祝辞がありました。司会を水野幾子理事が務めました。次に、議長には青木利治理事が選出され、議事録作成人宇水勉理事、議事録署名人に中西康德理事、柴原俊介理事を指名しました。議事は、事業報告、事業計画等を秋山峰治事務局長、決算報告、予算案説明を大村洋子理事が行い、全て承認されました。佐伯忠夫理事の閉会の言葉で無事に総会が終了しました。

総会後は、筑波大学第二学群生物資源学類 4 年生 (当時) の石井英貴さん (兄) と、日本大学三島高等学校 3 年生 (当時) 石井将仁さん (弟) の講演会が行われました。司会進行を小松幸子三島ゆうすい会副会長が務め、石井兄弟からは、「三島から世界へ！ 未来への挑戦」～ミシマバイカモの組織培養と分類上の位置づけ～と題した講演が、会場一杯の参加者を魅了しました。2 人はパワーポイントを使い、三島市泉町で幼少の頃より慣れ親しんだミシマバイカモの組織培養の実験の経過などを分かり易く説明しました。また、参加者からの質問も活発で、2 人は丁寧に回答



講演中の石井兄弟 (上) 熱心に聞き入る参加者

していました。聴衆に交じって息子さんたちの講演を聞いていた母親の石井幸子さんにも、自然界に興味をもち研究熱心だったという子供時代の兄弟のことを語っていただきました。会場内は用意した椅子が足りないほどで、会員のほか、中学校の先生、中には小学生の親子での参加もあり、みな大変興味深く聞いていました。



講師の石井英貴さん (兄) 将仁さん (弟) を囲んで記念撮影

交流会は、会員で静岡県議会議員の豊岡武士さんのご祝辞、志村肇三島ゆうすい会顧問の乾杯で始まり、石井英貴さんと石井将仁さんを囲み、温かな雰囲気との和やかな会となりました。とりわけ若い石井兄弟の今後への期待は、大きいものでありました。



会場には第 3 回「水よ輝け！ 写真展」の応募写真も展示されて

また、この日は、三島ゆうすい会の愛唱歌である「♪水よ輝け！」「♪水車 (みずぐるま) 作詞：上村勝美さん」(関連記事 3 P) の CD も特別に配られました。

平成 21 年度の三島ゆうすい会の主な活動は、「水の勉強会・視察」、「水よ輝け！ 映画祭」『山のかなたに』の上映・関連記事 4 P)、「水と蛍のフェスティバル」への参加協力などです。

活動あれこれ

七草がゆの集い



1月7日(水)、塚田冷子三島ゆうすい会会長宅の庭で、第9回七草がゆの集いが行われました。

今年は例年より暖かく、また、三島市のカレンダーで紹介されたためか、参加者は100人を越えるほどでした。塚田会長の春の七草の解説



七草ナズナ♪とロザさみながら

に続き、七草の紹介、コールロベリアの歌に合わせ、会場の皆さんも一緒に七草の歌を歌いました。



参加者も一緒に歌を楽しんで

その後、泉町の人たちがつくった

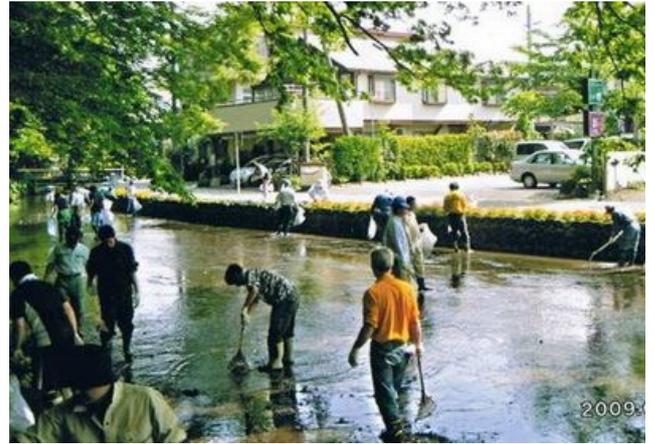
七草がゆをいただきました。七草は前日、三ッ谷の内藤さんからいただいてきたもので、七草のたくさん入った美味しいおかゆをお代わりする人もあり、箱根たくあんの評判も上々でした。

日本に古くから伝わる慣わしも各家庭で傳承されることは少なくなり、三島ゆうすい会の七草の集いは、昔を思い出す人で一杯でした。参加した保育園児たちは、この七草がゆを食べてどんなことを思ったのでしょうか。

三島の川をきれいにする奉仕活動

5月10日(日)、市内4河川—桜川、源兵衛川、御殿川、蓮沼川で、三島の川をきれいにする奉仕活動を行いました。三島ゆうすい会他5団体は桜川(菰池公園~浦島神社西側)の清掃に参加し、空き缶や茶碗のかけら、落葉雑草の除去などを行い、土嚢約130袋分を拾い集めました。今年も参加者が多数あったの

で、約2時間で作業を終了することができました。5月末には、御殿川、桜川の水源の一部・白滝公園で湧水が出始めます。



川の脇には土嚢袋が並んできれいになった桜川

ゴミのないきれいな川に、今年も湧水が流れる風景を見たいと願っています。

蓮沼川(宮さんの川)では、三島ゆうすい会の塚田冷子会長、柴原俊介理事、柴原英子さん、松根典子さんが町内の人たちと一緒に汗をかきながら、草取りを中心に清掃を行いました。

「カルガモの赤ちゃんが、もうすぐ生まれそうなの」と掃除終了後、嬉しそうに話していました。

三島の川にズガニ放流

5月14日(木)のよく晴れた早朝、三島ゆうすい会中西康徳理事と秋山蜂治事務局長が浜名漁協に向かい、モクズガニ50kg(数千匹)を買って受けて、午後、三島市内の夏梅木川、山田川、菰池公園、桜川にそれぞれ放流を行いました。

沢地川では、さわじ作業所の入所者の皆さん10人と一緒に、放流を行ないました。初めてカニにさわる人もいて、まずカニの掴まえ方を中西理事から教えてもらい、交代で1匹ずつ川に放しました。「緊張したけれど、楽しかった」「カニのお腹は、ぼわんぼわんとしていた」「小さい頃に捕まえたこともあり、生きものは大好きです。今日は楽しかった」と話していました。最後に「元気に育ってね。ばいばい」と、カニに声をかけて終わりました。



ズガニの放流にドキドキ!!

「水と蛍のフェスティバル」への 盛大なチャリティコンサート

5月18日(月)、みしまプラザホテルで「水と蛍のフェスティバル」のためのチャリティコンサートが開かれ、三島ゆうすい会からも多数参加しました。

渡辺賢司先生の指導のもと練習を重ねている女声アンサンブル Luna は、渡辺栄子さん他4名の素晴らしいハーモニーで、「アヴェ・ヴェルム・コルプス」



Lunaの皆さんの美しい歌声

会場内からは手拍子も



や「ラシーヌ讃歌」などを歌いました。

キーボードやバンドも入った映画のテーマソングの「ダンシングクイーン」などもあり、会場も手拍子をして、賑やかなコンサートとなりました。

ゲストとして、みなかみ合唱団32名も出演し、



みなかみ合唱団の歌声も会場に響いて

「鮎の歌」「ほたるこい」など季節感漂う歌もありました。

開演前の団欒とあいまって、演奏会は和やかな中で始まり、荘厳なうちに終了しました。指揮者の解説で、曲の内容もよく理解できました。コンサートの収益は「水と蛍のフェスティバル実行委員会」へ寄贈され、志村肇実行委員長から感謝の言葉と蛍が育ち繁殖している素晴らしい環境を今後も守りたいと力強い挨拶がありました。6月6日(土)に開催される「水と蛍のフェスティバル」がとても楽しみです。

『水と蛍のフェスティバル』に出かけよう！

今年も蛍祭りの時期が近づいて来ました。

1985年、(社)三島青年会議所が中心になって蛍祭りを始めてから、今年度は25回目の記念すべき年となりました。

「よみがえれ清流、ホテル飛び交い、心ふれあう夢ある街」をスローガンに「水の都・三島」



2008年の抽選会の様子

復活を目指し、三島市立公園楽寿園で「水と蛍のフェスティバル」6月6日(土)昼の部(10時～)、夜の部(18時10分～)を開催します。



昨年、本部を訪れた来賓各位

当日、三島ゆうすい会役員と会員有志の20名以上は、本部、入口、出口、警備、売店等にスタッフとして参加協力する予定です。

昼の部から多彩なゲストを迎えます。この夜には蛍舞う楽寿園となります。ぜひ遊びにきてください。

三島ゆうすい会・新イメージソング

♪水車(みずぐるま)

皆さんに愛されている三島ゆうすい会愛唱歌「水よ輝け！」に加えて、このほど新しく「水車(みずぐるま)」が加わりました。作詞は三島ゆうすい会会員の上村勝美さん、作曲は歌手のさくまひろこさん、「水よ輝け！」同様、多くの方々に口ずさんでほしいものです。

「水車(みずぐるま)」

作詞 上村勝美
作曲 さくまひろこ

ましろき 富士の 伏せし みず
いづみとなり て わき 出でぬ
ながれを かさね いくとせ かわ
いにしえの ぶみずのおも
まわ-る まわ-る みず-ぐるま

- | | |
|--|--|
| <p>1) 真白き富士の 伏せし
泉となりて 湧き出でぬ
流れを重ね 幾年か
いにしえ偲ぶ 水の面
まわる まわる 水車</p> | <p>3) 糸繰のごとく 廻りしは
過去語るか 懐かしく
行く末見るか、いとおしく
現身の世の あるままに
まわる まわる 水車</p> |
| <p>2) 湧きてせせらぎ 流れては
木陰を写し 鳥憩う
水草繁り 魚の影
永久に変わらず いつくしむ
まわる まわる 水車</p> | <p>4) 流れの傍に たどり来て
佇み眺む 人がいる
思い巡らす 人なれば
水の音色で もてなさん
まわれ まわれ 水車</p> |

水よ輝け！映画祭「山のかなたに」のおしらせ

三島ゆうすい会 20周年記念事業プレ映画会 [2009. 11. 14 (土)]
三島での撮影の思い出

今から 60 年前、第 2 次世界大戦後、(三島市内の) 学校はすべて男女共学になりました。男女の交際が恥ずかしくない時代になり始めた昭和 25 年、前年の「青い山脈」に続き石坂洋次郎原作の「山のかなたに」の撮影が三島で行われることになりました。

物語の設定が、まだ男女共学前の昭和 22 年の話ですので、エキストラは三島南高等学校の 1～3 年の男子生徒のみ全員出演し、3 日間学校は休校で撮影に参加しました。1 年生女子は撮影風景を見に行くだけです。撮影校舎は伊豆近在で一番モダンな(三島市立)南小学校が選ばれました。廊下の窓ガラスは 1 枚もありません。板が所々はめてあるような時代です。バスケットの練習、校庭での集会、大きな 3 本松、狩野川川原の乱闘シーン、ラストシーンで三島南高等学校の校歌「自覚」が流れてきます。時の校長、穂積忠先生は、出演料を全て生徒会の費用に入れてくれました。

インターネットで「山のかなたに」を調べましたら「終戦 2 年目の夏、山に囲まれたとある町が舞台。ロケ地は三島らしい」と出ていました。忘れられないうちに三島から手を上げて、撮影場所が三島であったことを発信したいと思いました。この秋、11 月 14 日(土)、三島市民文化会館大ホールで開催の「水よ輝け！」映画祭を、ぜひ楽しみにお待ちください。



「山のかなたに」のワンシーン

定例の清掃予定

★いずれの定例活動も自由参加です。ふるってご参加ください！雨天時は原則として休みです。

【定例活動(作業等)】

●宮さんの川清掃

原則として毎朝 6:00～

宮さんの川集合

長靴、軍手またはビニール手袋持参
「宮さんの川を守る会」とともに

●源兵衛川のいづみ橋から広瀬橋までの草取りなど

原則毎週土曜日、日曜日の朝 6:00～

源兵衛川いづみ橋集合

長靴、軍手またはビニール手袋、草取り道具等持参

「三島ゆうすい会」有志とともに

●源兵衛川清掃

原則として毎週第 2 日曜日 13:00～

水の苑緑地・かわせみ橋集合、

長靴、軍手またはビニール手袋持参
「源兵衛川を愛する会」とともに

●桜川清掃

原則として毎月第 1 土曜日 10:00～

白滝公園集合

長靴、軍手またはビニール手袋持参
「桜川を愛する会」とともに

●三島梅花藻の里保全活動

原則として毎月第 2 日曜日 10:00～

三島梅花藻の里集合

長靴、軍手またはビニール手袋、草取り道具等持参

ご寄付・会費・資機材支援

●ご寄付(敬称略・順不動)

石川 めい子

高橋 佳代子

●新入会員(敬称略・順不動)

柴原 てる子

吉田 豊作

●会費ご入金

本年度会費【平成 21 年度分】の納入にご協力賜りますよう、よろしくお願い申し上げます。(詳しくは同封の案内をご覧ください)

★未納の方は、いずれかの口座へご入金くださいますよう、よろしくお願い申し上げます。

〈年会費金額〉

・正会費 3,000 円

・賛助会費 1 口 10,000 円

〈お振込み先〉

・郵便振替 0840-4-118192

加入者名: 三島ゆうすい会

普通預金 No.0346532

・スルガ銀行

三島セントラル支店

普通預金 No.572969

・三島信用金庫西支店

普通預金 No.1042399

口座名: 三島ゆうすい会

会長 塚田冷子

